

# 中間評価

## 対象事業No.1：高知東部地域の1次産業活性化を支援する道路整備



事業の目的〔東部地域の活性化を支援〕

室戸地域の柑橘類、海洋深層水、高品位水産物、安田川流域のゆず加工品による村おこしなど、地域の1次産業を活性化するため、幹線やそれにつながる補助幹線、毛細血管となる市町村道の改良を行うとともに、既存道路の有効利用を図るための修繕等を行う。東部地域は高規格道路網の整備が進んでいない。現道は、行き止まりで狭いうえに異常気象時通行規制となる路線が多く、落石や崩土による集落の孤立が度々発生する。このため、地域から早期の道路改良が望まれている。近年、唯一のフェリ-航路までも廃止され、道路の果たす役割は非常に大きくなっている。

### 【整備前の課題(県民ニーズ)】

農産品等の荷造り時間の増加  
付加価値商品の開発  
交流滞在時間の増加  
地域の活性化

### 指標算定の考え方

道路を利用する人が得られる「ゆとり時間」  
ゆとり時間 = (短縮時間 × 交通量 × 乗車人数) / 恩恵人口  
短縮時間: 整備による移動時間の短縮  
交通量: 整備区間の自動車交通量(H11センサス)

### 移動時間の短縮 「ゆとり時間」の創

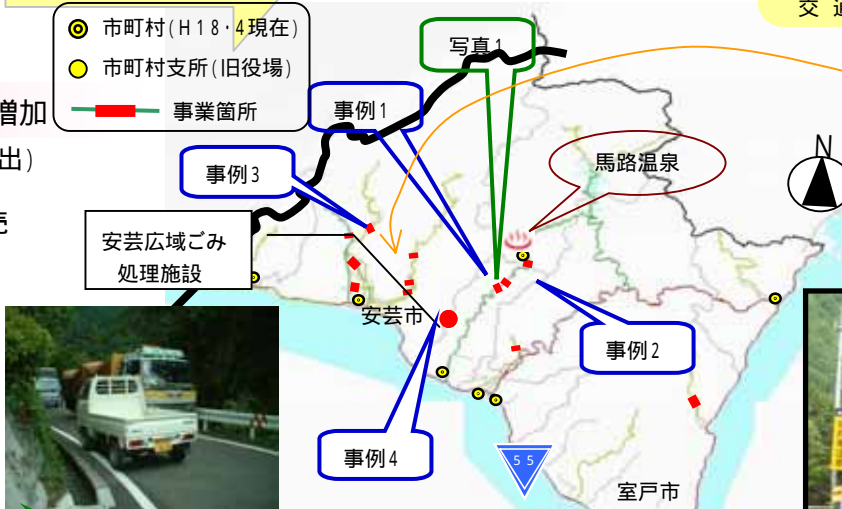
### 【中山間走行支援システム】

県道奈比賀川北線では、道路が非常に狭いため車同士のすれ違いが困難な箇所において、待避所のある場所にて対向車の接近を知らせるシステムを設置し、安心して走行できるソフト施策を実施している。県下に拡大中

### 【効果その1】 農産品等の荷造り時間の増加

幹線となる県道安田東洋線(船倉、瀬切、朝日出)の整備が進み時間短縮がされることにより、全国に名高いゆずの生産量及び加工品の販売が順調な伸びをみせている。  
(生産量H15: 2,898t H16: 4,616t)

ゆず(高知県全国シェア75%:1位)  
全国生産量: 17,231t  
高知県生産量: 9,360t  
東部地域生産量: 4,616t  
【平成16年度】



【写真1】  
ゆずの加工品を運搬する車輛などが多く通行するが、現道は狭く行き違いにも困難をきたしている。(安田町瀬切付近)



### 【効果その2】 交流滞在時間の増加



馬路温泉には年間を通して多くの観光客が訪れる。



【事例1】  
県道安田東洋線(船倉、瀬切、朝日出)は、パッケージ内の各工区を組み合わせることで改良延長の延伸を図り、馬路村役場からR55までを時間短縮  
50分 42分

### 馬路温泉の利用状況

| 所在地 | 名称   | H16(人) | H17(人) | 伸び率(%) |
|-----|------|--------|--------|--------|
| 馬路村 | 馬路温泉 | 46,068 | 50,022 | 108.6% |

写真: 県道安田東洋線(安田町船倉)

### 【効果その3】 付加価値商品の開発

### 【今後の課題】更なるアクセス改善で地域の活性化へ

〔馬路村のゆずぼん酢、ゆず清涼飲料水、魚梁瀬杉〕

高知東部地域の一般廃棄物処理拠点となる安芸広域ごみ処理施設（H18.3稼働）完成で、9市町村からのごみが安芸市へ搬入される。

馬路村で生産されるゆずの加工製品は、その味の良さからテレビなどで紹介され、県内外で人気を得ている。高知県のアンテナショップ（東京都吉祥寺）では、馬路のぼん酢が売上No.1である。



【事例2】  
県道安田東洋線（馬路村朝日出）  
馬路村を通る唯一の幹線道路である。ゆず製品や魚梁瀬杉がこの道路を利用して出荷される。異常気象時通行規制路線で、土砂崩れ等が起こった場合は、馬路村は孤立する。



〔安芸市の冬春なす、土佐ジロー（地鶏）〕

安芸市の約600戸（174ha）の農家で生産される高品質な冬春なすは、生産量が16,100t（H16）で全国シェアの11.5%を占め全国1位の産地である。また、当地の土佐ジロー（地鶏）の肉や卵が非常に美味しいとテレビなどで紹介され、県内外に数多く発送されている。



【事例3】  
県道畑山栃ノ木線（安芸市赤久）  
冬春ナスや土佐ジローが出荷される当路線では、1.5車線の整備により部分的な拡幅や待避所を設け、安全で走りやすい道路整備を行っている。異常気象時通行規制路線で、土砂崩れ等が起こった場合は、沿線の集落は孤立する。



【事例4】市道黒瀬谷1号線（安芸市伊尾木）  
完成により、安芸広域ごみ処理施設へのアクセス（約130台/日）が大幅に改善

道路整備による地域の活性化が期待される！

### 今後の課題など

- ・今後30年間での発生確率が50%と言われる南海地震等に備え、幹線道路とそれにつながる補助幹線、毛細血管となる市町村道の改良を進め、避難路ネットワークを地域、市町村と協働して構築する。
- ・H17末時の中間目標は達成したが、更なる高知東部地域の活性化を目指し、自動車及び緊急車輛での円滑な移動が可能となるよう道路整備を推進。
- ・「ゆとり時間」の創出により、県東部に点在する観光施設や宿泊施設を利用した、観光客等の交流滞在時間の増加を目指す。
- ・高知東部地域の一般廃棄物処理拠点となる、安芸広域ごみ処理施設への更なるアクセス改善を図る。

### 達成度の報告

|           |          |
|-----------|----------|
| H16当初現況値  | 0 (時間/年) |
| H17末中間目標値 | 7 (時間/年) |
| H17末中間実績値 | 9 (時間/年) |